

一般社団法人栃木県バスケットボール協会

令和 7 年度 定時代議員総会 議事録

日時：令和 7 年 6 月 29 日（日）午前 10：00～11：00

会場：文星芸大附属高校研修センター

出席：〔理事〕12 名 小曾戸和彦、高橋哲夫、鈴木克美、直井秀幸、荒木享、佐藤昭、阿久津宏一、
梶崇司、益子基久、周藤真理子、菊地宜秀、佐藤圭一

〔監事〕1 名 荻美紀

〔代議員〕8 名 石川絵美、土屋智子、富田厚子、石川真琴、金澤創彦、小口修、諏訪敏勝、
日向野剛

〔委任状〕37 名 石渡光平、菊田恵子、仙波晶平、山中元、長田美華、小見司、黒崎良典、佐藤朱、
中村恒貴、福田恭子、宮岐節雄、山崎雅洋、岡龍哉、大房健太、久野木勇太、
野澤久美子、福田精一郎、森下郁弥、柳澤毅、山崎大介、大高伸吾、大坪祐二、
小林一央、高山智行、仲井順、眞下智行、松岡愛奈、宮川正敏、大山賢史、
若林謙作、大森康史、篠原誠一郎、有田一也、大森亜希子、田所純一、永島幸介、
菊原敬一郎

欠席：〔理事〕17 名 鎌田眞吾、千村隆、渡邊諭、藤本光正、井上尉央、渡邊整、下島健一、増渕倫巳、
大平幸造、小林幹央、渡邊明美、増山敬大、佐藤智信、網野友雄、濱口泰志、
齋藤宣子、高野貴市

〔代議員〕6 名 栗田順之、高崎徹、前原延之、近藤敏、村上愉彦、二階堂敬

〔監事〕1 名 別井明彦

1 開会

2 あいさつ

小曾戸会長：本日はお忙しいところ代議員総会にお集まりいただきありがとうございます。

本県では、宇都宮ブレックスが3度目の B リーグチャンピオンとなっただけではなく、
その後開催されました BCLAsia2025 においてもチャンピオンとなり、9 月にはシンガポ
ールにて FIBA Intercontinental Cup へ出場することとなりました。ますます栃木のバ
スケットボール熱が高まっていくことと思います。

本日の総会におかれましても皆様よろしく申し上げます。

3 定数について（定足数報告）

事務局：定款及び定款細則（代議員）により代議員 8 名の参加と 37 名の委任状により過半数以上が
出席し定足数を満たした。

4 議長選出

定款第 3 章第 26 条より代議員総会の議長をとして会長を選出する

5 議事録署名人の選出について

司会：定款第 30 条により U18 の 石川 真琴 氏と 3x3 の 小口 修 氏にお願いします。

6 審議事項

(1) と (2) は関連性があるので、あわせてご説明いたします。

(1) 令和 6 年度事業報告について(専務理事)

● 1 の競技会開催事業について大会結果等を報告する。(大会結果については別資料参照)

中でも、大きな大会の開催として、2 月の関東高校新人大会と 3 月の関東ミニバスケット大会の開催が報告された。さらに、JBA の委託事業として、9 月に天皇杯・皇后杯 1 次ラウンド、そして、11 月に皇后杯 2 次ラウンドの開催報告がある。また、ブレックス主催事業としての天皇杯 2 次ラウンドの開催報告がある。加えて、昨年度は W リーグを 2 カード開催した。

そして、昨年度最大の行事として、FIBA アジアカップ 2025 予選 (Window 2) 男子日本代表 VS 男子モンゴル代表選を開催した。

2 の人材育成事業については、国体選手強化・国体派遣関係、ジュニア育成 (DC) 事業、指導者育成事業、審判育成事業、T0 研修事業等を報告した。

3 の広報事業については、県協会のホームページが新しくなった。

4 の普及活動については、3x3 の普及として「市長杯」および FIBA 3 X 3 WORLD TOUR UTSUNOMIYA OPENER の開催協力や、宇都宮ブレックス委託事業などを行った。

5 の会議関係では、定時代議員会・理事会 (年 6 回) の開催について報告した。

その他として、①賛助会事業②B リーグホームゲームにおけるゲームディレクター・T0・スタッフ事業の協力などを報告した。

(2) 令和 6 年度収支決算について(専務理事)

●収入の中で (1)「経常収益」の中で特に「受取チーム登録費と受取競技者登録費」のところが大きく増額となっているのは、昨年度より PBA の部分を最大限に引き上げてからである。また、「事業収益」のところでは、「大会協賛金収益」と「委託料収益」ならびに「入場料収益」のところが大きく増額となっている。「大会協賛金収益」と「入場料収益」はともに、W リーグと皇后杯 2 次ラウンドによるものである。また「委託料収益」は天皇杯・皇后杯 1 次ラウンドおよび皇后杯 2 次ラウンド開催に対しての JBA からの委託金によるものである。

支出の中では (2)「経常費用」の中の「旅費交通費」と「支払い分担金」が大きく増額されているのは、収入の中でも説明のあった「天皇杯・皇后杯」や「W リーグ」の開催に伴うものが主な要因である。

(3) 監査報告

●監査報告書を朗読

○特に質問なしで承認を得る

続けて、(3) と (4) を同様に合わせてご説明いたします。

(3) 令和 7 年度事業計画 (案) について (専務理事)

● 1 の競技会開催事業について

県内大会行事予定表の記されている通り今年度の事業を実施したい。

また、今年度の関東大会については、実施予定がない。新たに、今年度より「天皇杯・皇后杯」の大会形式が変わる関係で、8月最終週の土曜日と日曜日に白鷗大学大行寺キャンパス体育館において「天皇杯・皇后杯1次ラウンド」を実施する。それに伴ってT0の関連事業として、「T0基礎講習会」を他県に先駆けて、JBAより講師をお招きして開催する。この講習会の趣旨は、日ごろT0席の後ろに立ってT0クルーをご指導いただいている方々から「T0の実務や知識などを学ぶ機会を作ってほしい」との要望があり、それにこたえる形で実施するものである。通常、「負けT0」文化が日本の中にはあり、さらには、T0がミスをする（特にU12の子供たち）ベンチや観客から強い口調で叱られるなど、子供たちをそういった被害から救いたいという目的も併せ持つものである。この講習会を発端として、こういう活動が関東→全国に広がっていくことを期待したい。それから、今年度も、宇都宮ブレックスに関連した大会への協力事業であったり、Wリーグ開催への協力であったりがある。

今年度の目玉としては、9月6日と7日にU18日清食品トップリーグを日環アリーナにて開催する。日清食品さんとしては、集客の大変気にされていたので、本協会としても全力でご協力させていただきたいと考えている。

2の人事育成事業については、10月に開催される「滋賀国民スポーツ大会」出場に向けて8月の「関東ブロック予選」で勝利するべく強化練習会等を実施していきたい。

また、アンダーカテゴリーについても引き続き育成事業を行っていきたい。

さらに、指導者育成・審判員育成・T0育成事業等についても引き続き今年度も実施していきたい。

その他として、ミニバスケットボールクリニックの実施や、栃木ブレックスとの委託事業、FIBA 3X3 WORLD TOUR UTSUNOMIYA OPENERの開催協力についても行っていきたい。

(4) 令和7年度収支予算（案）（専務理事）

- 令和7年度収支予算について、登録料収入・受け取り補助金等を合わせて59,757,000円の収入となり、前年度比15,549,000円の減収となる予定。その主な原因は、昨年度実施した「皇后杯2次ラウンド」「Wリーグ」などの入場料収入が今年度はそれほど見込めないためである。また、それに伴って、事業費支出も減少するため、総支出額は59,257,000円となり、当期経常増減額が500,000円となる見込みである。

○特に質問なしで承認を得る

8 その他

特になし

9 閉会

高橋副会長：総会のご審議ありがとうございました。今後とも、よろしくお願いします。

2025 年 6 月 29 日 (日)

議 長

氏 名 小曾戸 和彦

議事録署名人

氏 名 石川 真琴

議事録署名人

氏 名 小口 修